

令和2年度 生産者手取り最大化実践メニューのご紹介

JAと全農にいがたでは、担い手の皆様の経営改善と手取り最大化をめざし、様々な実践メニューをご提案しています。

実践メニューは、大きく物財費削減・労働費削減・生産性向上の3つに分類されており全34項目があります。

内容をご覧いただき、気になる項目からぜひ実践してみてください!!

なお各項目の詳細は、[JA全農にいがたHP-営農レポート-5月号](#)をご覧ください。

(詳しくは、お近くのJAにお問い合わせください)



令和2年度 生産者手取り最大化実践メニュー一覽

項目	物財費削減	単位	項目	労働費削減	単位	項目	生産性向上	単位
1. 肥料・農業費の低減			1. 育苗・直播技術			1. 収量品質向上・需要確保		
1	水稲用JA県下統一肥料の普及拡大	ト	10	水稲高密度播種の導入	ha	21	土づくり肥料の施用	ト
2	一般高度化成肥料の銘柄集約	ト	11	水稲直播栽培(鉄コーティング等)の導入	ha	22	◎オーダーメイドBB肥料の活用	ト
3	肥料・農業の直送対策	経営体	2. 施肥の省力化			23	複数年契約栽培(コシヒカリ、こしいぶき)の取り組み	ト
4	◎フレコン規格肥料の取り扱い	ト	12	肥効強弱型肥料入り銘柄の活用	ト	24	水稲多収性品種の導入	ha
5	担い手直送規格農業の拡充	ha	13	苗箱まかせによる水稲育苗箱全量施肥	ト	25	大豆の生産性向上	ha
2. 機械費の低減			14	水稲流し込み施肥	ト	2. 園芸の新規導入・拡大		
6	農機シェアリース(大型コンバイン)	経営体	15	ドローンによる水稲施肥	ト	26	園芸品目の生産拡大	ha
7	「JAグループ共同購入」トラクターの開発	台	3. 除草の省力化			27	加工・業務用向け野菜の生産	ha
8	園芸振興用農業機械の貸し出し	ha	16	豆つぶ剤・顆粒水和剤による防除	ha	28	養液栽培システムの導入	セット
3. 段ボール資材価格の引き下げ			4. 園芸の省力化			3. 営農排(かん)水の改善		
9	全国標準規格段ボール箱への集約	品目	17	野菜収穫機の導入	台	29	地下水水位制御システム「FOEAS」の導入	ha
			18	生分解性マルチの活用	本	30	農業機械の活用による「土づくり」	台
			5. 水管理の省力化			4. ICT等による生産の効率化		
			19	自動給排水装置の導入	台	31	営農管理システム(Z-GIS)の導入	経営体
			6. 米の出荷作業の軽減			32	営農計画策定支援システム(Z-BFM)の活用	経営体
			20	米のフレコン出荷の拡大	ト	33	ドローンの活用	台
						34	GPSを活用した農業機械の導入	台



(担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)